

## 活動報告（9月レポート）

担当：静岡県西部農林事務所 農村計画課

表題：農村RMO形成に向けた有識者による現地調査を実施しました

日時：令和6年9月6日（金）

場所：静岡県浜松市浜名区引佐町

農地等の地域資源の保全・活用を担う人材や労力、農村の集落機能を維持するため、地域の特性に応じた持続可能な体制づくりの一つとして、農村型地域運営組織（農村RMO）の形成が必要とされており、本年度から本格的な取組みを進めています。

9月6日（金）、農村振興に精通した有識者である、法政大学現代福祉学部の図司教授をお招きし、農村RMOに関心が高い鎮玉地域及び大栗安地域での現地調査を実施しました。

各地域での代表的な農地を視察した後、地域の関係者と意見交換を行い、現状の課題や今後の方向性について意見を交わしました。

意見交換では、地元自治会とNPO法人の関係性や移住・空き家問題、路線バスの廃止など、農山村整備だけでは対応が難しい課題についても話題となり、地域からは行政の横断的な対応を期待する声が多かったです。

西部農林事務所では、農村RMO形成に向けた取組を継続していきます。

